ウインテック株式会社

愛媛県東温市

生産性向上　需要獲得　担い手確保

ものづくり　サービス

ポイント 「グローバル」、「ニッチ」、「トップ」を合言葉に社員の誇りを育て、協力会社とともに成長する企業

○高い技術力を背景に積極的に海外へ販路を拡大。各国の認証制度へもチャレンジ

○国内シェア 80%の蛇行修正装置で顧客の生産ライン高速化に大きく貢献

○社員や協力会社のモチベーションを高めることは最大の仕事。30 社を超える協力会社との交流会を開催

企業基本情報

所　在　地	愛媛県東温市松瀬川 1022
電話 /FAX	089-955-8822/089-955-8824
U　R　L	http://www.wintec-japan.jp/
代　表　者	代表取締役社長 駄場元　定生
設　　立	1981 年
資　本　金	1,000 万円
従 業 員 数	19 人

会 社 概 要

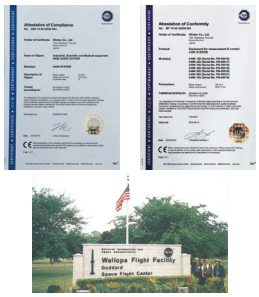
顧客の工場の無人化を実現する自動機を提案することで、顧客の生産性向上やコストカットに貢献。様々な分野の協力会社の技術も結集して、設計から仕上げまでを高い完成度でこなす。また 15 年前に紙おむつや生理用品の生産ラインで使用される「蛇行修正装置」の市場に参入。最後発のメーカーながら、「使いやすい」、「壊れない」、「操作が簡単」が評価され、国内の不織布業界では 80%以上のシェアを確保するまでに成長。中国や東南アジア、中東等へも販路を広げている。

会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

高い技術力を背景に積極的にアジア圏などの海外へ販路を拡大

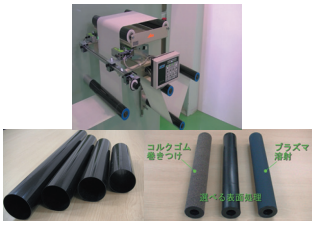
主力商品の 1 つである蛇行修正装置はアジア圏を中心に海外での販売を拡大しているが、EU 圏での販売も視野に入れて CE 規格にも適合させた。またアスファルト路面の摩擦係数を測定する装置の作成にも携わり、これまで確定した基準がなかった計測方法について、NASA（アメリカ航空宇宙局）で行われたワークショップに参加。世界市場を相手にした時、各国の認証制度への適合は必須となるため、認証制度へのチャレンジも積極的に取り組んでいる。



NASA,CE マーク

国内シェア 80%の蛇行修正装置で生産ライン高速化に貢献

紙おむつは材料である不織布をロール状の原反から引き出し、貼り合わせながら製品にする。不織布同士がズレないよう修正を行うのが「蛇行修正装置」だが、早い時期から不織布と接する回転ロールにカーボンロールを採用した。カーボンロールは軽量なため回転しやすく生産ラインの高速化に貢献した。2014 年には熱可塑性樹脂に炭素繊維を混ぜて金型に流し込む方法を考案し、より短い時間で製作することを可能にした。「第 4 回ものづくり日本大賞　製品・技術開発部門　優秀賞」受賞。



蛇行修正機

社員や協力会社のモチベーションを高めるのが経営者の仕事

「世界一の商品を作るためには優秀な社員と優れた協力会社が必要であり、両者のモチベーションを高めることは経営者の最大の仕事」との考えから、研修旅行や勉強会を通じて積極的に利益を還元している。30 社を超える協力会社と『WinWin 会』を作り、年に数回講師を招いて勉強･交流会を実施し、共に研鑽と交流を深めている。「利益を分けることで周りに優秀な協力会社が集まり、顧客の信用と期待が高まり次の仕事に繋がる」との言葉の通り無借金経営を継続している。

第 7 回 WinWin 会